

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	
Communicative English III M (3)		
	■ ■ 時間割コード	
■ ■ 講義題目	041346	
Communicative English III	■ ■ 年度	■ ■ 時間割
	2012	前期 金1
■ ■ 担当教員	■ ■ 単位数	■ ■ 教室
	1	
長井 克己[Nagai Katsumi]	■ ■ 対象年次及び学科	
	2~ 全学共通科目	

■ ■ 関連授業科目

主題科目B-2で提供される講義

■ ■ 履修推奨科目

Communicative English V/VI

■ ■ 学習時間

授業90分×15回+授業外学習（予習・復習・発表準備）

■ ■ 授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I / II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

■ ■ 授業の目的

この授業は受講生のスピーキング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

■ ■ 到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. とにかく英語で数分間、話しつづけることができる。

■ ■ 成績評価の方法と基準

Presentation : 20% Apparent effort and co-operation (Q&A) : 20%
Mid-term exam : 30% Term exam : 30%

■ ■ 授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

- (1) 3 minutes speech on newspaper articles, (2) Q&A,
- (3) Shadowing practice, (4) Role-play of "Happy Apple Hospital" の順に演習を行う。

【授業計画】

第1回：新聞記事を速読し、内容を確認してスピーチの内容を考える。教科書の確認。

第2回～第7回：1 Unit / 2 weeks で Read-Aloud / Shadowing 練習を行う。
第8回：中間試験とチュートリアル
第9回～第14回：1 Unit / week で演習を行う。
第15回：期末試験とフォローアップ

【自学自習に関するアドバイス】

- ・この授業は1単位科目である。
- ・予習復習とプレゼンテーションの準備をしっかりとってください。

■ ■ 教科書・参考書等

伊藤&伊藤. (2008). シャドーイングで身につける実践医療英会話.
(ISBN 978-4-521-730417)
スピーチの題材となる新聞記事は、1回目の授業で配布。

■ ■ オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

■ ■ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

■ ■ 参照ホームページ

■ ■ メールアドレス